

会議録様式

審議会名	令和2年度第1回杉戸町立図書館協議会
開催日時	令和2年8月6日(木) 午後2時00分～4時00分
開催場所	生涯学習センター 多目的ホール
会議の議題	(1) 令和元年度図書館事業の報告、及び令和2年度図書館事業計画について (2) (仮称)図書館基本計画の策定について (3) その他
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 (公開の場合傍聴者数 9 人)
	(非公開の場合理由)
出席委員氏名	杉野正純委員 高嶋大地委員 室伏加代子委員 山口和子委員 荻原俊文委員 寺崎恵子委員 正司顯好委員 濱田幸子委員
審議の概要	1 審議事項
	① 令和元年度図書館事業の報告、及び令和2年度図書館事業計画について ② (仮称)図書館基本計画の策定について ③ その他
	2 主な意見
	<p>① 令和元年度図書館事業の報告、及び令和2年度図書館事業計画について 事務局 小暮館長より説明</p> <p>委員) 事業計画について、今年度より委託開始であるのだから、事業計画に委託について詳しい説明が記載されていないと図書館の全体像がつかめないのではないか。</p> <p>事務局) 委託の内容については、御指摘のとおりであるため、今後は詳しく掲載していく形で検討する。</p> <p>委員) 以前より指摘していた図書ボランティアの貸出冊数について、規則上は100冊まで可能となっているが、現状は50冊までと制限されており、混乱を招くことから統一していただきたい。</p> <p>事務局) 開館当初は蔵書数が少なく、そのために利用者の利便性から団体貸出冊数の制限をお願いしていた。現在、蔵書数は増加したものの、各団体への影響が大きいため、今後の取り扱いについては年内に結論を出させていただきたい。</p>

委員) 宮代町立図書館は、様々な工夫を凝らしており、その工夫の中に学校との連携がある。今回の資料の中に読書手帳があるが、この手帳の活用をどのように学校に指導しているのか。

事務局) 読書手帳は、町内新1年生を対象とした「図書バック&図書カードプレゼント」の新規配布物として、学校を通して新一年生全員に配布した。今後については、図書館に来館した利用者に積極的に配布していくことを検討する。

委員) 図書館事業を行っていく中で、近隣自治体との人的交流を積極的に図っていくという考えはあるのか。

事務局) 人的交流については、現在東部地区の組織があり、そこで館長同士の情報共有等を行っている。そういった場での意見交換等を図書館運営の改善に役立てていきたい。

委員) 図書館事業について、対象者が児童に集中していることから、対象者の範囲を広げてもいいのではないかと。例として、小学生&高齢者の合同紙芝居会等による世代間の交流というような視点があってもいいのではないかと。

事務局) 御意見として参考にさせていただく。

委員) 図書館はどの世代を利用者のメインと考えているのか。また、それについてどのように考えているのか。

事務局) 利用者が減少傾向にあり、かつ予算が削られている中では、まずは図書館を知ってもらうことが重要であると考えている。そのためにイベントを開催し、本を借りるだけでなく本を通じた楽しさを感じてもらって、図書館に対して良いイメージを持ってもらうという目的がある。マスコミを通じたPRもその一環である。子どもを中心にとすることも、その目的によるものであったが、今後は御指摘のあった通り、広い世代へのアプローチを考えていきたい。

委員) 図書ボランティアについて、図書館へ来館することが困難な町民に対して、各地域のボランティアがカバーしている。そういったボランティアに対して講習会等、何らかの支援はないのか。

事務局) 図書館には予算の中で講習会等の予算がある。現在、新型コロナウイルス防止のため、開催にあたってはその対策が必要となるが具体的な講習内容に要望があれば御提案いただき検討させていただく。

委員) 事業計画について、図書館の役割として、医療支援やビジネス支援等、課題解決コーナーを設置することについては考えているのか。

事務局) 県立図書館等でサービス提供をしていることは聞いている。地域に何が必要かということについて、今後、皆様の御意見を参考として検討させていただく。

委員) 上記の課題解決コーナーについて、健康医療などは世代関係なくかわることからターゲットの範囲は広い。専門書だけではなくわかりやすい解説書を置くことでも支援となる。こういったコーナーを設置したことをきっかけに関係課と連携し、予算を確保するという方法もある。検討していただきたい。

事務局) 検討する。

委員) 町内の公民館図書室の現状を知るために、図書館協議会で見学会を行いたい。

事務局) 皆様の御意見を伺いつつ検討する。

委員) 図書館まつりの予算について、予算なしという状態が続いているが、予算をつけていただきたい。

事務局) 政策財政課と検討する。

委員) 図書館まつりの予算について、予算をつけるために協議会からアプローチできるのであれば、その方法を教えていただきたい。

事務局) 予算については、町の全体を見ての判断となるので確約はできない。しかし、昨年度調べもの学習予算が措置されたように、明確な理由とそれに基づく建設的かつ合理的な意見による説明があれば、予算として措置される可能性が高い。様々な立場からの意見を出していただきたい。

委員) 学校と図書館は各イベントを通じて連携を行っているが、今後の課題として、小学生、中学生に本を読む力の育成をしてもらいたい。

事務局) 各イベント等を通じて図書館や蔵書のアピールは今後も行っていく。小中学生の読書推進に関しては、小中学生のアンケート等を参考に本の購入を検討する。

② (仮称)図書館基本計画の策定について

事務局 小暮館長より説明

委員) 図書館基本計画について、平成14年に作成した運営基本計画がある。しかし、その計画目標が達成できていないことから、その理由を検証して新規の基本計画を作成すべきではないか。

事務局) 当初に作成した建設基本計画については、平成14年度に作成したものであり、人口の増減等、杉戸町の現状と大きく異なる部分もあることから、そういった面の見直しも含めて計画の新規作成を行いたい。

③ その他

事務局 張ヶ谷より図書館新型コロナウイルス対策について説明

委員) 図書館コロナ対策について、図書館内で検討をした上の対策なのか。すべて本庁からの指示で行っているのか。

事務局) コロナ対策については、図書館の意向や、県立や近隣図書館の状況等を踏まえたうえで本庁と検討し、対策を決定している。本庁からの一方的な指示によるものではない。

委員) コロナありきの生活が常態化しつつある中で、中止だけではなく、その状況下における事業の開催・変更等の研究が必要となってきた。図書館として情報収集に努め、今後の展望を検討していただきたい。

委員) 今年度の再購入資料について、購入判断について確認したいものがあつた。児童書購入について、幼児、児童に相応しい図書を熟考の上、決定していただきたい。

事務局) 図書については、内容の確認、近隣図書館の所蔵状況等を行った上で購入決定をしている。図書についての御意見は、図書館側としても是非参考としたいことから、担当者までご連絡いただきたい。

総括

館長) 今回、外部の方々を招いて貴重な意見をいただけたことは、非常にありがたいと感じている。今後、図書館運営に大いに反映させていって、皆様に喜ばれる図書館運営を進めていきたい。